

静岡小だより

～気づき 考え みんなで創り出すⅡ～ 令和7年 7月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑮



まもなく1学期が終了します。子どもたちの学校生活の中には多くの「気づき 考え みんなで創り出す」がありました。子どもたちの取組一つ一つに価値をつけ、1学期の学びとくらしの成果や自分(たち)の成長を実感し、2学期につながる締めくくりができるとよいです。1学期、子どもたちも職員もよく頑張りました。1学期終了にあたり、教室での学びの一部を紹介します。

森山学級



1年生は、国語の時間に、教科書の挿絵を見ながら物語を味わっていました。登場人物の気持ちや場面の様子に「気づく」ことで、子どもたちの読みは深まります。人物の心情や場面の様子を、言葉や文章だけでなく、挿絵の活用を取り入れながら思考していくことは、読みの力を育む大切な学びです。

また右の写真は、算数の時間に、式から問題文を考える学習をしている様子です。これにより、問題場面を解釈しながら式を構成したり、計算の概念をとらえたりすることができます。1年生にとっては大切な学びの経験です。

田中学級



2年生も、「気づき」から学びを創ることを大事にしていました。学校図書館の本を活用して、自分が育てる野菜について調べています。自分で調べ、野菜のことを知ることで、これからはじまる栽培への意欲と野菜への

愛着が深まると思います。野菜への「気づき」から、栽培方法を「考え」、自分の活動を「創り出していく」、そんな学びのきっかけとなる学校図書館の活用だと思います。

また右の写真は、町探検に出かける前の黒板です。町についての「気づき」を出し合い、みんなで町探検に向けた課題を創っています。これにより、町探検に意味をもちながら「自分たちの学び」を創ることができると思います。

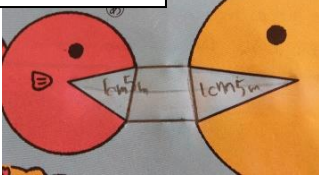
岡田学級



ハマナス園の見学で気づいたことを出し合い、学習課題を考えていきました。「気づき」から生まれた学習課題なので、こだわりをもちながら、進んで自分の探究を進めていくことができます。3・4年生

のハマナスの探究はどんどん盛り上がっています。「ハマナスが育つ環境をどう守っていくのか」、自分の学習課題を、自分なりの方法で追究することで、課題解決の力はもちろん、情報を収集・整理する力が高まっていくと思います。また、ハマナスをくらしに取り入れる「ジャム・ハマナスウオーターづくり」を通して、ハマナスがより身近に感じられ、ハマナスへの愛着や理解、誇りがいっそう深まっていくと思います。

縄江専科



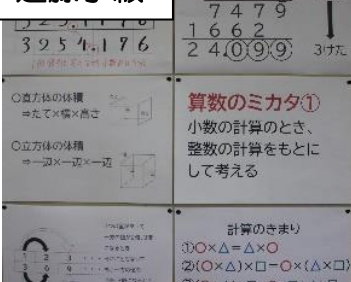
4年生は、算数の時間に、「角の大きさ」の学習をしていました。

子どもたちは、口の長さを計って、大きな口を開けている方を判断していました。お互いの考えを伝え合って、「口の開け方」は長さではなく、「口の角度」

に着目していかないといけないと、みんなで話し合いを通して結論を導き出しました。

また、右の写真のように、国語では、言葉や文章を手がかりにして、人物の心情や場面の様子で考えたことを伝え合い、対話的に読みを深め、広げていました。みんなで創り出す学びの一つですね。

遠藤学級



5年教室には、左の写真のような掲示物が掲示されています。これまでの学び、いわゆる「既習内容」がまとめられています。考える手がかりとなる「これまでの学び」を視覚化していくことで、子どもたちは、これまでの学びを活用しながら、根拠をもって考え、自分なりの結論を導くことができます。また、子どもたちから「これまでの学びを活かせば、新たな問いを考えていくことができる。」という「気づき」を生み出していくことができます。大切なしかけです。

田淵学級



6年生は、学級・学校をよりよくするために、「会社」の計画について提案しています。この様子を「校長先生にも見てほしい。」という6年生の思いから、教室におじゃまさせてもらいました。活動の「目的」「方法」をつなげながら自分たちの考えを発表していました。

その中に、「平均会社」があります。算数で学習した「平均」を使って、みんなのくらしの実態をつかみ、呼びかけをしていきます。右の写真は「睡眠時間の平均」です。睡眠時間を調べ、計算した平均から、「睡眠時間をもっととりましょう。」と訴えかけています。学びとくらしをつなげていくことで、算数の学びがより深まっています。

こうした学級での取組が、学校全体を創り出す6年生の大きな力になっていきます。

来年度以降の PTA 組織・事業について

6月11日（水）に、3校合同 PTA 役員会を行いました。学校統合を控え、新たな PTA 組織と事業を整えていく時期です。4月の PTA 総会でお示しした案をもとに共通理解と協議をしました。PTA 組織については、皆様にも提案させていただいたとおり、現静間小学校の PTA 組織をベースとしながら、以下の組織でスタートしていくことになりました。

OPTA 会長（静間小）・PTA 副会長（鳥井小と五十猛小）
 ○生活環境部長（静間小）・副部長（五十猛小）
 ○研修広報部長（静間小）・副部長（鳥井小）
 ○保健体育部長（静間小）・副部長（静間小）
 これまでの「顧問」の業務の中に「監査」を含める

各部の事業も、現静間小学校の事業をベースとしながら展開することになりました。組織・事業については、R8年度以降も協議を継続し、その都度調整を図っていくことになりました。なお、各部の部員配当割については、生活環境部（6割）研修広報部（2割）保健体育部（2割）となりました。

3学期に入りましたら、各校ごとで部員選出をしていくようになります。